慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	特別研究教員紹介
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2007
Jtitle	Newsletter Vol.1, (2007. 9) ,p.8- 8
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002003-00000001-0008

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

特別研究教員紹介

石井 拓

主にオペラント条件づけの技法を用いた動物行動研究に携わってきました。取り上げてきたテーマは選択行動、インターバル計時、行動の変化抵抗などです。また、結果が不確実な場面でのヒトの選択行動も取り上げてきました。グローバル COE では衝動的行動と自己コントロールの対立を手がかりとして、論理と感性の問題に実験的にアプローチします。また、内面的な問題として捉えられがちな論理と感性を行動分析学の立場からはどのように分析できるかについても興味を持っています。

小川 芳範

本センター特別研究教員の小川です。分析哲学、哲学および論理学史を専攻しています。本センターにおいては、論理的推論および論理の基礎について、岡田光弘先生および論理・情報班の皆さんとの緊密な共同作業をつうじて、哲学・思想史的観点から研究を進めると同時に、「人間」についての哲学、すなわち哲学的人間学という観点から、論理と感性の問題について包括的にアプローチしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

辻井 岳雄

脳と進化班の特別研究教員になりました辻井岳雄です。専門は認知神経科学で、主に脳磁図 (MEG)、近赤外分光法 (NIRS)、脳波 (EEG) を用いて、作動記憶、社会的認知、感性処理、論理推論の研究を行っています。また、記憶認知に及ぼす抗ヒスタミン効果の実験では、認知神経科学を臨床薬理に応用することで積極的な産学連携を進めてきました。現在は、経頭蓋磁気刺激用のナビゲーションシステム (ルージュリサーチ、Brainsight) と機能的 MRI (シーメンス 3.0T、Trio-Tim) の導入の仕事に携わっています。今後ともお世話になりますが、何卒よろしくお願いします。

星 聖子

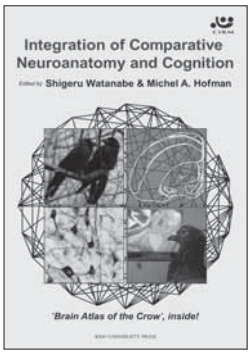
哲学・文化人類学班の特別研究教員になりました星 聖子です。専門はイタリア美術史で、特にルネサンス期にヴェネツィアで制作された祭壇画に関心があります。また先の COE プログラムに引き続き、美的体験と心の問題に関心を寄せています。「美」とは生得的に判断されうるものでしょうか？ 社会的文化的背景はその判断にどのような影響を与えているのでしょうか？

論理と感性がせめぎあう場としての美術作品について、さまざまな角度から取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局だより

関連書籍の紹介

“ Integration of Comparative Neuroanatomy and Cognition ”



拠点リーダー渡辺茂（本学文学部教授）と Michel A.Hofman（Netherlands Institute for Neuroscience Amsterdam) の共同編集による、比較認知と比較脳解剖学の融合を目指した論文集を刊行しました。これは、2006 年 8 月に本学三田キャンパスで開かれた同名の国際会議を元にしており、脳の進化研究の草分けである H.J. Jerison を始め、M.A. Hofman や A.C. Kamil など、各分野の第一線級の研究者による執筆です。また、近年その高い知性が注目されている、カラスの「脳地図」が本書において世界で初めて報告されました。

ISBN 978-4-7664-1394-6

活動予定

- Symposium on Perception of Biological Motion
  日　時： 10 月 17 日（水）13：30-18：00
  会　場： 三田キャンパス東館 G-SEC Lab
  講演者： Nikolaus Troje（Queen's University）
  山口真美（中央大学文学部）
  平井真洋（自然科学研究機構　生理学研究所）

- Keio-Vienna Joint Seminar: Experimental Studies of Social Cognition in Birds
  日　時： 10 月 23-25 日
  場　所： ウィーン大学神経生物学・認知科学教室

- 言語と認知班「意味論研究会」
  9 月 7 日（会場：慶應義塾大学・三田）
  講演者：古賀弘毅（佐賀大学）
  10 月 26 日 (会場：弘前学院大学)
  講演者：David Yoshikazu Oshima（茨城大学）
  11 月 30 日（会場：慶應義塾大学・三田）
  講演者：Anastasia Giannakidou（シカゴ大学）

※詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

編集後記

グローバル COE プログラム「論理と感性の先端的教育研究拠点形成」がスタートして半年、ニュースレター 1 号をお届けいたします。我々人間の活動は、天秤の両側にのった論理と感性のバランスを調整することによって、さまざまな方向へと展開していくのでしょうか。本拠点では、今後、fMRI など研究設備も充実していく中で、この問題に多角的に取り組んでいきます。私どもの今後の活動に、ご注目いただければ幸いです。

最後になりましたが、本号の編集にご協力いただいた皆様に、心より御礼申し上げます。（星　聖子）

慶應義塾大学　論理と感性の先端的教育研究拠点
Centre for Advanced Research on Logic and Sensibility
Newsletter 2007. September. No.1

発行日　2007 年 9 月 28 日
代表者　渡辺 茂
〒 108-0073　東京都港区三田 3-1-7　三田東宝ビル 7F・8F
TEL：03-5427-1156
FAX：03-5427-1209
coe-office-al@flet.keio.ac.jp